

研究成果報告書サマリー集

【令和5年度終了課題】

令和6年7月



独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

はじめに

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所は、特別支援教育のナショナルセンターとしての役割を踏まえ、国の政策的課題や教育現場の喫緊の課題に対応した研究を実施しています。その研究成果を教育行政や学校での教育実践において活用していただくため、各種研修や情報普及等の様々な事業を通じて、幅広く周知するよう努めているところです。

令和3年度からは第5期中期目標期間が始まり、文部科学省との緊密な連携の下、障害種の枠を超えて、国の特別支援教育政策の推進、又は教育現場の喫緊の課題解決に寄与する「重点課題研究」や、各障害種における喫緊の課題解決に寄与する「障害種別特定研究」を実施しております。

令和5年度は重点課題研究を4課題、障害種別特定研究を1課題実施しました。その他、各種の経年的な調査研究や外部資金による研究等も実施したところです。

令和5年度に終了した研究課題は、令和3年度から3年間取り組んだ『高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究』の1課題です。本誌「研究成果報告書サマリー集」は、終了した研究課題の成果の普及を目的として、研究成果報告書を簡潔にまとめ、より多くの方々に御覧いただくために、本研究所のウェブサイトに掲載するとともに、各関係機関にも冊子として配布するものです。読みやすさに配慮して、概要等を1ページにまとめた概略図を掲載することで、内容理解の一助としています。

最後に、本サマリー集のみならず、本研究所における研究成果をもとに作成したガイドブックやリーフレットを公開するとともに、セミナーの実施等、研究成果の普及に引き続き努めて参ります。本研究所の研究活動や特別支援教育に関する情報普及等について、皆様方の忌憚のない御批正、御助言を賜れば幸甚に存じます。

令和6年7月

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
理事長 中村 信一

目 次

○重点課題研究*

- ・高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究
・・・・・・・・・・ 1

*重点課題研究：障害種の枠を超えて、国の特別支援教育政策の推進、又は教育現場等の喫緊の課題解決に寄与する研究